

## 令和3年度 第2回北杜市須玉地域委員会議事録

1 日 時 令和3年1月19日（金）18時～19時40分

2 場 所 須玉総合支所 第1会議室

3 出席者（敬称略）

- 委 員：内田嘉朗、宮崎久、里吉保正、桜井彰一、輿水みなみ、櫻井ひろみ、津金政彦、篠原克巳、輿水康代、日向善元
- 事務局：須玉総合支所長 植松宏夫、地域市民課市民担当 赤岡仁
- 企画部：企画課長 田中伸、ふるさと納税担当 土屋直己
- 傍聴人：志村清

4 議 題

- (1) 令和4年度北杜市地域委員会予算の方向性について
- (2) 令和3年度提案事業の進捗状況及び令和4年度予算使途提案事業予算（案）について
- (3) その他
  - ①市政報告について

5 公開・非公開の別： 公開

6 傍聴人の数： 1人

7 会議の経過

(1) はじめのことば

(2) 地域委員会会長あいさつ

(3) 須玉総合支所長あいさつ

(4) 議事

北杜市地域委員会設置条例第8条第2項の規定により会長が議長となることから、議事進行は櫻井会長が行う。

会 長：議事に先立ち議事録署名人に、内田嘉朗委員と輿水みなみ委員を指名。

委 員：異議なしの声。

会 長：異議なきものと認め、本日の会議録署名人は、ただ今指名をしたとおり決定

しました。

議事1 令和4年度北杜市地域委員会予算の方向性について

事務局：資料に基づき、予算の方向性について説明する。

内田委員：甲斐源氏祭りは中止ということで良いか？

企画課長：新型コロナウイルスは現在収まっているが、今までのような祭りは難しい。甲斐源氏祭りを中止することではなく、手作りのイベントとして地域を盛り上げる祭りとして開催してほしい。

会長：飲食の無いイベントや、狼煙リレー等いろいろ考えていきたい。甲斐源氏祭りの名前をつなげていきたい。

里吉委員：花火大会は北杜市全体でのイベントか？また、手作りのイベント予算は？

企画課長：今から予算要求するので、何も決まっていないが、新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、合併17年が過ぎ北杜市として一体感を醸成できるイベントを目指している。

事務局：手作りイベントの予算については、次の議題で説明する。

輿水委員：新型コロナウイルスの関係で地区のイベントが全て中止となっている。飲食を伴わないイベントとのことだが、住民の方は飲食を楽しみにしているので残念で仕方がない。工夫して何か開催できれば良いと思う。

会長：食べ物を作って販売することは可能と考える。住民の方には持ち帰って食べてもらえば良い。

櫻井委員：このような状況だからこそ人とのつながりが大切。花火大会を一箇所か複数箇所で行うのか不明だが、手作りのイベントは盛り上げ方が大変だと思う。世代を超えて多くの人が参加できるイベントを考えてほしい。

津金委員：アフターコロナの時代は生活スタイルが変わると考える。

今までとは違う祭りのあり方を模索すべき。花火大会や食べ物を持ち帰るだけでは、今までの祭りの置き換えではないか。今までと違う祭り開催してほしい。

篠原委員：高齢者関係の予算が5万円だが、予算を増額してはどうか？公民館を利用して高齢者関連の事業を作ってほしい。

輿水委員：甲斐源氏祭りの代わりに、地区の伝統芸能の事業を増やし、子どもたちが楽しめる行事を考えてほしい。また、花火大会を楽しみにする住民も多くいるので、市全体の花火大会には賛成だ。

会長：子供たちはまだワクチン接種が済んでいない。子どもの感染対策が必要。

輿水委員：イベント会場への子供たちの搬送をしてはどうか。

日向委員：大勢が集まるとなると屋外のイベントということになると思う。今年、狼煙リレーに江草でも初めて参加した。当日は23人くらいが集まり、そのうち子どもは10人。獅子吼城の遊歩道を散策しながら頂上まで登り、お城や狼煙の説明を行い、狼煙を上げた。武川の中山砦や若神子城の狼煙がものすごくきれいに見えた。獅子吼城では上手に上げられなかつたが、非常におもしろいイベントだったので今後も取り組んでいきたい。

副会長：予算は無いが手作りの祭りなら良いということなので、形は変わっても委員の皆さんに協力してもらい、何らかの祭りを行いたいと考える。

花火大会については反対である。みんなが集まって地域のために手作りで行うのが祭りだと考える。

企画課長：皆さんから比較的賛成の意見をいただいたと受け取った。

会長：私も、狼煙リレーや手作りの鎧で、イベントをやりたいと考える。狼煙リレーでは、獅子吼城での狼煙上げを発掘することができた、埋もれている地域の城や砦を見直す機会にしていきたい。

花火大会については、私も反対である。花火大会の予算があるなら自分たちで祭りを行うので、地域に予算を配分してほしい。

企画課長：各支所を回って、皆さんからの意見を吸い上げている段階。皆さんの意見も来年度の予算の方向性に反映していきたい。

## 議事2 令和3年度提案事業の進捗状況及び令和4年度予算使途提案事業予算（案）について

事務局：資料に基づき、令和3年度提案事業の進捗状況及び令和4年度予算使途提案事業予算（案）について説明する。

内田委員：若神子上区の御柱祭りでは飲食は不可欠であったが、区民にアンケートをとり、新型コロナウイルスの状況を考慮して里引きや飲食は行わないこととした。また、子どもたちの参加は、ワクチン接種の問題があるので、参加を見送った。

前回と同じ額を要望したが、半額でも補助していただければありがたい。

会長：伝統文化伝承事業の各団体が毎年3万円。御柱祭りは7年に一度なので21万円くらいの相場感だが、半額の予算額で納得していただければと思います。

事務局：補助金は宗教的な部分に支出はできない。祭りを中心とした地域の活動に支出するということでご理解いただきたい。

里吉委員：高齢者が増えているのに、高齢者関連の予算が少ないのでないか？

会長：要望を市に上げる必要がある。高齢者に関する事業を提案してください。

輿水委員：小倉地区でも獅子舞をやっており、5年前ぐらいまでは補助金が支給されていたが、この資料からは無くなってしまった。

会長：伝統文化の事業を行っているのであれば、市へ要望を上げてください。

日向委員：根古屋地区の伝統文化継承団体支援事業では、消耗品で購入できない扇や鈴などのために補助金を利用してきたが、減額（案）はその部分を考慮してのものか？

土屋リーダー：扇や鈴などは備品にあたり、この補助事業の対象とならない。

企画課長：備品の購入が必要な場合は、宝くじ助成のコミュニティ事業が事業費20万円、補助率100%であるのでそちらを利用されたい。

櫻井委員：新型コロナウイルスで施設訪問、弁当作りなどが出来ず、外注した弁当ではさみしい限りだ。

事務局：ボランティアグループでお弁当以外の事業を計画することはできないか？

櫻井委員：新型コロナウイルスのために、会員がなかなか集まれず、事業の計画や検討ができない。

津金委員：新型コロナウイルスの状況により、補助金が執行されていない。何か有効策は無いか？ また、手作りの祭り予算302千円の根拠は？

支所長：事業は申請に基づいて行われるもの。各団体で知恵を出してもらい有効な事業を計画していただきたい。事業ができないということであれば、予算を不用額とし減額するよりほかない。

事務局：手作り祭りの予算（案）は、根拠は無いが、予算調整をしていく中で地域委員の皆さんで実施できる予算の規模感が約30万円と考え計上した。

副会長：来年度早々、実行委員会を立ち上げ祭りについて皆で検討していくのでご協力をお願いする。

### 議事3 その他について

#### ①市政報告について

事務局：市政報告書について説明。

会長：予定された案件が全て終了しましたので、議長を下ろさせていただきます。  
議事の進行にご協力いただきましてありがとうございました。

#### （5）おわりのことば

副会長：閉会の言葉。

19時40分 終了

北杜市須玉地域委員会委員

由田嘉朗 

輿水みなみ 